

まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 6 年 12 月 17 日(火)18:00～19:20

場 所： 三日月公民館

出席者： 9 人

1. 開 会
2. 町長挨拶
3. 懇 談

(1) 主要施策の取組状況について 資料①参照

(2) 自由懇談

4. その他

- ・資料②参照 ネイチャーポジティブの実現に向けて
- ・資料③参照 紙の保険証の発行について
- ・資料④参照 緊急告知 FM ラジオについて

5. 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■国道 234 の拡幅とバイパスについて

町 民 国の予算の関係もあって国道 234 の拡幅が進まないのもよくわかっている。それでもバイパスの原案は変わっていないと聞く。現状と今後の見通しは。

町 長 国道 234 の拡幅、4 車線化と、バイパス化については、これまで過去から国への要望活動を行ってきた経過がある。バイパスの当時の経過はあまり存じていないが、地元の期成会と開発局、札幌開発建設部のほうとでいろいろとあってストップしてしまったということがあった。国の道路整備予算の縮小もあってバイパス化は棚上げ状態になっているが、今まで二十数年間、4 車線化とバイパス整備については要望をしてきている。一昨年に、有志の方に入っていただき地元の期成会を作り要望活動を展開している。4 車線化は国の予算が付きにくく、現在進められている 4 車線化の標準的な通過台数は 1 日に 2 万から 2 万 5 千台。234 号は 8 千台から 9 千台程度しかない。開発局と戦略を練って、右折レーンの無い 9 カ所の交差点の改良拡幅を進め、すべての箇所が終わってからつなげていく狙い。現在も日赤の拡幅工事を行っている。あと 5 カ所の危険箇所がある。毎年 1 カ所ずつくらい予算がついている。4 車線化が終わった後に、バイパス化を進めていく考え。

■道道の除雪について

町 民 今年は 3 カ月予報を見ても雪が多くなると思う。道道の除雪があまりにも畑に押しすぎている。法面までならわかるが畑にまで大量に飛ばされる。玉ねぎ畑の融雪が遅れてしまう。

町 長 道道の方に確認したい。

■くりやまハーフマラソンの交通規制について

- 町 民 本人ではないが、地域にくりやまハーフマラソンで家に帰れない人がいて相当怒っていた。誘導する人の指示に従って進んではダメだと言われ、グルグル回らされたあげく結局家に帰れなかったとのことだった。
- 町 長 大会をやっている最中、終了後にもたくさん苦情をいただいた。ご迷惑をかけないような大会にしたい。

■くりやまハーフマラソンの交通規制について

- 町 民 道知らない人が誘導員をしている。道を知っている人がやれば問題は起きないと思う。聞いてもわからないと言われる。要所には道を知っている人を配置すべき。
- 町 長 住民だけでなく、町外から買い物に来た方からも苦情をいただいている。次回に向けて検討したい。

■イベントの反省について

- 町 民 栗山町はイベントの開催に向けての集まりは多いが反省のために集まることが少ない。役員の人たちだけでの反省会では十分でない。
- 町 長 次につなげていくためには、反省はやっていかなければならないと思う。

■栗山赤十字病院の敷地内の薬局について

- 町 民 栗山赤十字病院が改築された場合、敷地内に薬局は建てられるのか。
- 町 長 栗山赤十字病院と薬局と話をしているが、敷地内に薬局が移転するという考えはないと聞いている。新しい病院ができた段階では実現できないと聞いている。

■栗山赤十字病院の建て替えについて

- 町 民 病院ができるのが令和7年9月開院、それから工事はそんなにかけられないのか。
- 町 長 今の計画では、来年の9月には新しい建物が完成。入院患者や医療従事者が引っ越しして、来年9月に開院する。その後、今の病院を解体や駐車場の整備などが1年くらいかかる。グランドオープンが令和8年になる。

■学校の建て替えについて

- 町 民 栗山赤十字病院の建て替えが終われば次は学校の建て替えか。
- 町 長 関係者が議論を積み重ねてくれたので、それを踏まえて町と議会とで協議して議論を進めていく。これからの子どもたちの数や、学級編成などいろいろなことを考えたときに、地域の皆さんの気持ちもわかるが、子どもたちのより良い学習環境を考えれば、統廃合は避けられないと思っている。これから、地域の皆さんへの説明や議会とも協議を進めていく。